

## Yamaha SY85 取り付け時の注意事項

2020/07/10 更新

SY85 に使用する場合、SY85 の ROM のバージョンによって挙動が違います。

下記に示した、アダプターおよび Gotek の設定モード以外で動作する場合がありますが、多くの場合条件によって動作が不安定になりますので、必ず下記の設定で行ってください。

なお、Gotek Floppy emulator は、そのままでは動作しません。必ずファームウェア書き換えを行ってください(FlashFloppy 推奨)。

また、HxC for Gotek/FlashFloppy

## FlashFloppy 使用の場合

設定後、ff.cfg を必ず設定し、ルートディレクトリまたは ff フォルダを作ってその中に入れ、一度通電し、しばらくし一度電源を切って Gotek の中に保存させて再度電源を入れてから動作させてください。

(最初は数回起動しなおさないとうまくいかない可能性があります、一度うまくいけばあとは何回も起動しなおしをやらなければならないことはないはずです)

フロッピーイメージの切り替えをした際は、数秒待って、モード切替ボタンの縦軸のボタン(ディスクを使うと思うので一番下のボタンなどでもよいと思います)を押すと、イメージが切り替わります。

### 設定

アダプタージャンパ : A 側(外側)にセット

Gotek 本体のジャンパ:MO,S1 にジャンパをセット

ff.cfg 設定 A(OLED やロータリーエンコーダ追加の場合、7 セグ LED 使用の場合はそれらに合わせて追加設定を書き加えてください。)

—  
interface = ibmpc  
host = unspecified

pin02 = nrdy  
# もしくは、pin02 = rdy

pin34 = nchg

***team BlueWing***

# もしくは、 pin34 = chg

write-protect = no

side-select-glitch-filter = 0

track-change = instant

write-drain = instant

index-suppression = yes

head-settle-ms = 12

motor-delay = 20

#ignore にすると動作しません

chgrst = step

ejected-on-startup = no

image-on-startup = last

## FDD もしくは HxC for Gotek 使用の場合

(HxC Rev.F などの場合はドライブ後方の取り付けマージンの関係上取り付けが困難な可能性があります、また動作確認は行っておりません)

FDD は、Windows PC (DOS/V PC) 用であれば、ほぼどれでも動作するようです。

(YE-DATA YD-702, Sumsung SFD-321 で動作を確認しております)

ただし、DS1 で動作をする FDD に限ります (PC に接続する場合一部のケーブルがひねってある先に FDD を接続する必要がある FDD 用に設計してあります)

注意: HxC for Gotek 使用の場合、必ず **USB メモリを取り付けた状態で電源を入れてください**。

またその際に USB メモリには必ずパソコン側でユーティリティをつかってディスクイメージを作ってメモリにコピーし、すぐに認識してマウントできるようにしておいてください。

また **電源が入っている間はメモリの抜き差しは絶対に行わないでください**。本体がハングアップします。フロッピーイメージの切り替えをした際は、数秒待つと、自動的にイメージが切り替わります。

### 設定

アダプタージャンパ : B 側 (コネクタ側) にセット

Gotek 本体のジャンパ: MO および S1 にセット

FDD は設定不要ですが、DS などの設定がある場合は、DS1 に設定してください。